

第16号

坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

丸岡町野中山王（のなかさんのう）は丸岡城下の南東方、東部加越山地の麓に位置する農村です。
丸岡藩領。谷間の田に灌漑用の貯水池を造り農業を営み、松茸の産地であったと聞きます。現在は、集落総動員で地域を守るため、排水路・農道の維持管理のほか、獣害軽減対策を共同活動の重要な柱としています。集落を守り後世により良い地域を継承するための、共同活動に心から感謝いたします。



表紙テーマ：春の共同活動の開始です。（2024/3/17 野中山王ふる里を守る会）

頁	内容（令和6年度テーマ：集落活動の後継者）
p 1～p 2	広報大賞企画賞受賞・令和5年度第2回代議員会報告
p 3～p 4	四ツ柳エコライフ（丸岡：高椋東部地区）活動紹介
p 5～p 6	池上環境保全の会（三国：加戸地区）活動紹介
p 7～p 8	為国営農保全会（春江：中部・東部地区）活動紹介
p 9～p 10	生き生き東長田（坂井：東十郷地区）活動紹介
p 11～p 15	ホタル放流・獣害連絡会、春の訪れ・冬の使者たち

全国農村振興技術連盟 広報大賞企画賞を受賞 しました。

主催：全国農村振興技術連盟

表彰：令和6年2月28日（水）：東京にて

対象：広報誌「**坂井市農・地・水's—愛**」 & ホームページ



表彰者集合写真（上段左から2人目）



長谷川副会長受賞



長谷川副会長・東副会長

表彰の趣旨：

地域における農業農村振興整備事業の推進ならびに効果の発揮に資する広報活動を積極的にを行い農村の振興に大きく寄与した。

令和5年度 第2回代議員会 ハートピア春江小ホール (2024/2/21)



出席者 代議員 122人 (出席(絆参加) 121人、会長委任1人)
参加者 204人 (実務者等を含めた会場参加数)

- | | | | |
|-------|------------------------|-----|----|
| 議案第1号 | 坂井市農地水広域協定書の一部改正について | ... | 議決 |
| 議案第2号 | 坂井市農地水広域協定の事業計画の変更について | ... | 議決 |
| 議案第3号 | 坂井市農地水広域協定の長寿命化計画について | ... | 議決 |
| 議案第4号 | 坂井市農地水広域協定の研修計画について | ... | 議決 |



高倉議長議事進行



池田坂井市長あいさつ

四ツ柳エコライフ

代 表 松浦 秀樹

1. 集落委員会の概要

当地区は、丸岡町中心部から九頭龍川寄りに位置し、近くには丸岡南中学校をはじめ、明章小学校や医科大学病院も隣接しており、生活する上では立地条件は整った環境だと思います。その中で、**水稻・大麦・そばを営農の柱**として取り組んでいる47世帯の集落です。

設立	平成 21 年
所在地	坂井市丸岡町四ツ柳
役員	代表・副代表・書記・会計 各1名 監査役 2名
構成団体	自治会 老人会 子供会 女性の会 福祉委員
構成員	73名
対象区域	2, 883 a
活動内容	機能診断（施設点検） 用排水路の泥上げ 共同管理地の環境整備（空き缶拾い・花植・せせらぎ清掃） 農道・法面の草刈り 生態調査（次世代との交流） 異常気象時の緊急点検

2. 集落委員会活動で困っているところ

当地区の活動は主に**土地改良施設の維持管理を農業従事者の方々を中心に地域区民の方々の協力を得ながら共同活動で行っています**。しかしながら、当地区においては構成員の高齢化も進んでいる中、**役員については設立当時とほぼ同じという状態です。後世にも素晴らしい風景を承継していくことや、将来の見通しを考えての事業を検討する上では、若手が必要**となってくるように思います。しかし、**若い方々の参加に苦慮**しているのが現状です。

3. 後継者育成について

後継者育成については 未だこれといった取組は行っていません。

今後は共同活動の**参加依頼を若手に行い、みんなで情報共有して将来を見据えた活動を行っていきたい**と思います。事務処理の効率化も図り、後継者がスムーズに受け入れられるようにしていきたいと思います。

4. 主な活動内容



定例役員会



泥上げ作業



せせらぎ清掃



花植作業



せせらぎ清掃



花植作業



草刈り作業



おまけ・・・スッポンです

5. この事業を通じて

この事業を進める上で色々課題はありますが、本年度は農地水事業においてまた一つ長寿命化工事(U字溝布替え工事)が実施され、新しくなった現地をみると地域の構成員の方々と地道にやってきた結果が実を結んだものと感謝しております。今後も共同活動を推進し、当地区の集落機能向上に努めていきたいと思います。

池上環境保全の会

代表 高橋 久明

1. 集落委員会の概要

三国町池上は、あわら市と隣接する坂井北部丘陵地で水田約70haと畑約60haの130haを農地として活用しています。農産物は水稻や特産品である梨そして畜産が盛んな地区です。また近年、畑作ではイチゴやネギ、ジャガイモなど品種が多様化し生産しています。

設立	平成21年4月
構成員	農業者 48名 非農業者 61名
役員	代表1名 副代表1名 事務局5名(会計1名含む)
対象区域	水田 7,064a 畑 6,058a
対象施設	水路 14.5km 農道 21.9km
活動内容	草刈り 排水路泥上げ ひまわり(景観作物) 施設周辺の雑木伐採 機能診断(施設点検) 空缶拾い 異常気象時見回り

2. 集落委員会活動で困っていること

近年の集中豪雨などにより高台から谷に一気に押し寄せる雨水に排水路法面が削られ崩壊することや農道路肩が崩れるなど何回も起きるようになってきました。また、丘陵地である為、土壌が山砂で水田法面が崩れて水漏れなどが起きやすくなっています。



集中豪雨による冠水



集中豪雨による土砂崩れ

3. 後継者育成について

当集落は、畑があり特産品である梨農家が30件近くあり若い人も休日には手伝いを行なっている関係上、共同作業である泥上げ等には若い人が参加しています。また、事務局役員も現在世代交代を図っている段階です。

4. 集落委員会の活動状況



排水路の泥上げ



排水路法面の草刈り



排水路法面の雑木伐採



機能診断・点検



農道路肩の雑木伐採



ひまわり畑（景観作物）

5. この事業を通じて

土地改良事業から約40年以上経過して圃場施設は老朽化して各所で補修が必要となつてきています。また、丘陵地では農地の高低差があり固定ケイハンや法面等の管理が大変重要になってきています。この事業によりきめ細かな農用地の補修を積極的に行っていきたいと考えています。

為国営農保全会

代表 東山 一郎

1. 集落委員会の概要

春江町為国の保全管理している農用地・農道・水路は会員の住居から離れていてハピラインふくいの春江駅の北東で春江町いちい野地区と春江町沖布目地区の間の区域にあたり市街地に隣接しています。パイプラインは整備しておらず用水路を利用し、また排水路は農地から住宅地の間をぬけ線路の下を通り堂田川に合流します。

- 委員会の設立 平成27年
- 構成員 15名
- 役員 会長 1名 ・ 副会長 1名
- 対象区域 田 865 a
- 対象施設 水路 3.0 km ・ 農道 1.5 km
- 活動内容 草刈り・排水路泥上げ・排水路・用水路のゴミ拾い
泥上げバキューム作業の補助

2. 集落委員会活動で困っていること

○毎年線路下付近の排水路に泥・枯れ草・ゴミ等が特に溜まる箇所があり少人数での手作業では困難のため委託業者により2015年、2021年に泥上げバキューム作業を実施しました。排水路の構造上漂流物が溜まりやすくまた合流する排水路があるため流れが悪くその実施した翌年には大量の泥等が既に溜まっています。**排水路の改修工事等または泥上げバキューム作業の間隔を短くするなど対策が必要**です。またその排水路は住宅地の間にあるため安全面、騒音面、道路や駐車場の通行止めによる自動車の移動、移動した自動車の駐車場の確保等と住民の理解や協力依頼に非常に苦労します。



排水路の泥・枯れ草・ゴミ



泥上げバキューム作業

○若い世代の参加が数名増えたが、高齢や健康面で不参加の方も多く、少人数で活動することが多いです。

3. 後継者育成について

○**構成員のうち農業従事者は1名だけ**で農地への関心が薄れる中、離農者やその子供の若い世代に**農地・施設の維持管理の必要性を理解してもらい参加を促していきたい**です。

4. 集落委員会の活動状況

法面の草刈り



用水路のゴミ拾い



住宅地を通っている排水路のゴミ拾い



農地の排水路の泥上げ.



排水路の泥・枯れ草・ゴミの撤去作業



会議



5. この事業を通じて

○若い世代とコミュニケーションをとり市街地と共存しながら将来も農地・農道・水路の維持管理ができるように話し合いを実施していきたいです。

活き生き東長田

代表 長谷川喜道

1 集落委員会の概要

「牛の交差点」で有名な東長田地区。南北に嶺北縦貫線、東西に川西丸岡線が走り、兵庫川が地区の南から西に向かって流れています。近年、木下工業やニトリ等が立地、出店しています。集落の戸数は54戸。周辺に水田が広がり、**米、大麦、大豆、そば等**を作付けしています。



設立 平成21年4月

区域施設 水田 76ha 水路 1.8km 農道 6km

役員 代表1名 副代表2名 会計1名 監査役2名 書記2名

役員会 年3回程度

例年事業 機能点検・診断 (3月)、空き缶・ゴミ清掃 (4月)、プランター植栽 (6月)
草刈 (6～8月 約3日間)、水路の泥上げ (3月 約3日間)

2 集落委員会活動で困っているところ

排水路の劣化破損、土砂堆積等による排水不良が発生していたため、農地水事業により排水路の底打ちや改修を行ってきました。**非舗装の農道についても、路面の陥没・凸凹が発生していたため、アスファルト舗装を進めています。**また、用水路の破損、漏水の問題については、現在、**パイプラインの整備を進行中**です。

3 後継者育成について

農地水活動（草刈、泥上）への区民の参加状況は、毎回約20人。区民一斉活動（空き缶・ゴミ清掃、泥上）では、約50人が参加しています。**区民の活動への参加意識は高く、活動の参加が区民の交流、親睦、情報共有の機会**にもなっています。ただ、高齢化が進んでおり、参加者の年齢は50歳代以上が中心。今後10、20年後の参加者の減少が危惧されます。

一方で、30代、40代の新規の参加も毎年少しずつついでいます。これは、**区のかりんて祭りにそば打ちをする若手（30～50代）の集まりがあり、区内の若者に参加を積極的に呼び掛けてくれています。**それをきっかけに農地水の活動や区の行事への参加につながっています。

4 集落委員会の活動状況

機能点検・診断 (3月)



プランター植栽 (6月)



草刈 (6~8月 約3日間)



空き缶・ゴミ清掃 (4月)



水路の泥上げ (3月 約3日間)



5 この事業を通じて

農地水活動は、農地の維持管理、景観保持に大いに寄与しています。また、区民の高齢化、高齢者のみの世帯や一人暮らし世帯の増加、地域住民が集う機会の減少等が進む中、**農地水活動は区民交流の貴重な機会**となっており、**地域コミュニティー、区民の絆を深める大切な活動**となっていると感じています。

広報誌 坂井市農地水'愛 第1号～第15号の表紙です。

初回号 坂井市農地・水's-愛

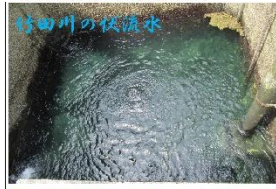


表紙テーマ：大鵜、雛鳥、そして、希望の未来へ飛ぶ鳥 (2003年10月発行)

頁	記事
1	坂井市農地水's-愛 創刊号
2	坂井市農地水's-愛 創刊号
3	坂井市農地水's-愛 創刊号
4	坂井市農地水's-愛 創刊号
5	坂井市農地水's-愛 創刊号

初回号

第5号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：清流の滝流水 (2003年11月発行)

頁	記事
1	清流の滝流水
2	清流の滝流水
3	清流の滝流水
4	清流の滝流水
5	清流の滝流水

第5号

第9号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：農地と多様な人々の笑顔の結びつき (2003年12月発行)

頁	記事
1	農地と多様な人々の笑顔の結びつき
2	農地と多様な人々の笑顔の結びつき
3	農地と多様な人々の笑顔の結びつき
4	農地と多様な人々の笑顔の結びつき
5	農地と多様な人々の笑顔の結びつき

第9号

第13号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：夏の子育てに多様な生物が活躍します。(2004年7/5発行)

頁	記事
1	夏の子育てに多様な生物が活躍します。
2	夏の子育てに多様な生物が活躍します。
3	夏の子育てに多様な生物が活躍します。
4	夏の子育てに多様な生物が活躍します。
5	夏の子育てに多様な生物が活躍します。

第13号

第2号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：農地を動物がすくすく学ぶ自然 (2003年10月発行)

頁	記事
1	農地を動物がすくすく学ぶ自然
2	農地を動物がすくすく学ぶ自然
3	農地を動物がすくすく学ぶ自然
4	農地を動物がすくすく学ぶ自然
5	農地を動物がすくすく学ぶ自然

第2号

第6号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：伝統の心でつなぐ未来 (2003年11月発行)

頁	記事
1	伝統の心でつなぐ未来
2	伝統の心でつなぐ未来
3	伝統の心でつなぐ未来
4	伝統の心でつなぐ未来
5	伝統の心でつなぐ未来

第6号

第10号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：地域一体でつなぐ未来 (2003年12月発行)

頁	記事
1	地域一体でつなぐ未来
2	地域一体でつなぐ未来
3	地域一体でつなぐ未来
4	地域一体でつなぐ未来
5	地域一体でつなぐ未来

第10号

第14号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：農地と自然環境、農地と地域社会のつながり (2004年7/5発行)

頁	記事
1	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
2	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
3	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
4	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
5	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり

第14号

第3号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：農地を動物がすくすく学ぶ自然 (2003年10月発行)

頁	記事
1	農地を動物がすくすく学ぶ自然
2	農地を動物がすくすく学ぶ自然
3	農地を動物がすくすく学ぶ自然
4	農地を動物がすくすく学ぶ自然
5	農地を動物がすくすく学ぶ自然

第3号

第7号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：農地を動物がすくすく学ぶ自然 (2003年11月発行)

頁	記事
1	農地を動物がすくすく学ぶ自然
2	農地を動物がすくすく学ぶ自然
3	農地を動物がすくすく学ぶ自然
4	農地を動物がすくすく学ぶ自然
5	農地を動物がすくすく学ぶ自然

第7号

第11号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：清流の滝流水 (2003年12月発行)

頁	記事
1	清流の滝流水
2	清流の滝流水
3	清流の滝流水
4	清流の滝流水
5	清流の滝流水

第11号

第15号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：農地と自然環境、農地と地域社会のつながり (2004年7/5発行)

頁	記事
1	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
2	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
3	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
4	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり
5	農地と自然環境、農地と地域社会のつながり

第15号

第4号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：農地を動物がすくすく学ぶ自然 (2003年10月発行)

頁	記事
1	農地を動物がすくすく学ぶ自然
2	農地を動物がすくすく学ぶ自然
3	農地を動物がすくすく学ぶ自然
4	農地を動物がすくすく学ぶ自然
5	農地を動物がすくすく学ぶ自然

第4号

第8号 坂井市農地・水's-愛




表紙テーマ：伝統の心でつなぐ未来 (2003年11月発行)

頁	記事
1	伝統の心でつなぐ未来
2	伝統の心でつなぐ未来
3	伝統の心でつなぐ未来
4	伝統の心でつなぐ未来
5	伝統の心でつなぐ未来

第8号

第12号 坂井市農地・水's-愛



表紙テーマ：清流の滝流水 (2003年12月発行)

頁	記事
1	清流の滝流水
2	清流の滝流水
3	清流の滝流水
4	清流の滝流水
5	清流の滝流水

第12号

今般、広報誌第1号から第15号の表紙を掲載させていただきました。
第16号は、表紙をご覧ください。

三国木部ホタル研究所「ホタル幼虫の放流会」



ホタル幼虫をピオトープへ放流：三国南小学校5年生と連携（三国町楽円地係 2024/3/18 撮影）



ホタルの幼虫（放流前）



三国木部ホタル研究所（三国木部コミセン内）



春の訪れ



水仙 (丸岡町ハケ郷地域を守る会地係 2024/3/27 撮影)



小黑農地水環境を守る会地係 (2024/4/3 撮影)



竹田の里を守る会地係 (2024/4/3 撮影)



坪江の里を守る会地係 (2024/4/3 撮影)



虹の里姫王地係 (2024/4/3 撮影)

去りし冬の使者たち



コハクチョウ (下兵庫むらづくり委員会・西みのりの里づくり委員会地係 2024/2/19 撮影)



鴈(がん) (今井環境保全友の会地係 2024/1/19 撮影)

坂井市は、農地1(水田約6千ha、畑地5百ha)：山林1：その他1(九頭竜川、竹田川、兵庫川、道路、宅地等)の多彩な地勢で構成され、故に多様で豊かな地域環境資源が存在しています。

多くの生き物が季節ごとにこの地を訪れ、大地の恵みを感じ力強く生きています。

その光景は、集落の皆様にあらぎと心地よさを与えてくれると聞きます。

坂井平野の冬の彩りの一翼を担い、地域の方々や通行者から感嘆の声を聞いています。

今、春を感じ、去りし冬は思い出となりました。地域のご理解とご協力に感謝いたします。



獣害軽減対策電気柵設置作業等の打ち合わせ (2024/3/17 撮影)



獣害軽減対策電気柵設置作業



獣害軽減対策のため旧用水路脇の雑木林撤去

集落委員会の一番の課題は、共同活動を含めた集落活動の中心者不足と聞いています。

少子・高齢化と人口減少を要因とし、集落役員や活動担い手不足が顕著であると感じます。

農用地集積は、地域の農業と農地離れを加速化させています。しかし、50年以上前に先達たちは、困難な課題を解決し農地・施設整備事業を成功させてきました。今、地域の中心世代となった皆様は、もう一度農業用施設の在り方を、非農家・若者・女性の意見を聞き、気候変動や都市・生活排水機能を含めた保全管理と安全対策の協議を地域全体で開始する時期と考えます。日々の共同活動に心から感謝いたします。

発刊：坂井市農地水広域協定（坂井市役所内）

坂井市坂井町下新庄 1 - 1

☎0776-67-2351